

2020年度 事業報告

はじめに

■基本方針

地域の人たちに働きかけて活動への共感者を増やす。

全国的な新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が出され、WE ショップ厚木1号店も臨時休業を実施。休業中は定期的に寄付品の受け取りを行い、ショップ再開の準備を進めました。

その後も感染防止対策を徹底しながら、寄付者やお客さま等 WE ショップに集う皆さまの期待に沿うように活動を続けました。

臨時休業による減収に対しては、国の持続化給付金及び新型コロナウイルス感染拡大防止協力金等により補填しました。

5月の通常総会は文書採決による少人数での開催としました。また WE 講座の開催を中止したことで、支援先の話や直接伺う機会がなかったことは残念でした。

コロナ禍支援先はどのような現状なのかを各支援団体から報告をいただき、ニュースを通して会員の皆さんにご報告しました。

前年度の神奈川県指定に引き続き6月には厚木市初の市指定 NPO 法人となり、8月には認定 NPO 法人格を取得しました。これで寄付金を頂いた方への税控除や法人へのみなし寄付金が可能になります。

7月に緊急支援を実施した熊本の豪雨災害の現地では復興が進まず、発生10年目となる東日本大震災復興支援先では、収束しない原発事故処理も含めて未だに被災者が不自由な暮らしを強いられている現実があります。

コロナ禍においても身近な現実を忘れることなく、日常活動を通じて支援を続けることが、チャリティショップの目的とあらためて確認しました。

1)チャリティショップでのリユース・リサイクル推進事業

(1) リデュース活動の推進

10月1日から全国的にレジ袋が有料化され、エコバッグを持参するお客さまも徐々に増えた。引き続き啓発ポスターを掲示し買い物袋持参への協力を呼びかけた。

(2) リユース活動の推進

* 未曾有のコロナ禍ではあったが、感染防止対策を徹底しながらチャリティショップ「WE ショップ厚木1号店」事業を継続し、一般市民等から寄付された衣類や日用雑貨等を販売し、環境への負荷が少なくなるようリユースを進めた。

2020年度活動実績表 人数は延べ人数 ()は前年比

営業日数	199日 (74%)		
寄付者数	2939件(81%)	内新規	75件 (58%)
顧客数	15,316人(73%)		
売上高	14,378,124円 (78%)		

※緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染防止対策としての対応

臨時休業 2020年4月9日～5月3日 5月7日～31日

2021年1月14日～2月7日

ただし、週2回10:00～14:00 寄付品のみの受け取りを行った。

変則営業 2月8日～3月7日 週2回(火)(金) 10:00～15:00 営業

3月8日～31日 週3回(月)(火)(金) 10:00～15:00 営業

* 着物のリユースを進める活動として「着付け教室」を開催。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためお休みすることも多かったが、着物文化を楽しむ時間を共有できた。(参加費 1回500円を講師に支払う。)

合計 16回開催 延べ35人参加

(3) リサイクル活動の推進

* 寄付された品物の中でリユースできなかった衣類等をリメイクボランティアの「おりひめ」や布ぞうり製作ボランティアに託し、リサイクルを進めた。

* リユースできなかった衣類等を故繊維業者に託し、リサイクルを進めた。

搬出袋数 702袋

* リユース出来なかった綿製品は、必要とされている高齢者福祉事業所等に45リトル袋110円で提供し、リサイクルを進めた。

提供した綿製品 29袋

(4) 広報活動

上記の活動への共感者を広げるために、寄付品募集チラシやローカルニュース発行と配

布、店内広報の充実、ソーシャルメディアの活用を進めた。

*** 寄付品募集チラシ**

- ・ 7月 2020年度版寄付品募集チラシを10000枚作成し市内配布を実施。

*** ローカルニュースの発行**

「WE21 厚木ニュースNo.61」 発行日 2020年 7月 500枚発行

「WE21 厚木ニュースNo.62」 発行日 2021年 2月 500枚発行

*** ソーシャルメディアの活用**

- ・ フェイスブックにリアルタイムにショップ情報を載せるよう努めた。
- ・ 2020年7月熊本豪雨被害への緊急支援の実施、6月の厚木市指定及び8月の認定NPO法人格取得等の情報や定期ニュースの発行等、タイムリーにホームページに掲載した。
- ・ 今年度は新型コロナウイルス感染防止の緊急事態宣言を受けて臨時休業や変則営業を行ったので、方針決定後の情報を迅速に掲載するように努めた。

*** 他団体からの取材 2021年2月25日**

新規の認定NPO法人として神奈川県協働事業 「神奈川チャリティアクション・キャンペーン(かなチャリ)」の取材を受け、ホームページに「NPOインタビュー」として紹介された。

2) 国内外の寄付支援事業

(1) 国内NPO、NGOの海外プロジェクト支援の実施

総額：1,900,000円

支援国等	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
カンボジア	認定NPO法人 「幼い難民を考える会(CYR)」	「村の幼稚園」地域での継続支援	70万円
	認定NPO法人 「シェア＝国際保健協力市民の会」	子どもの栄養改善1000日アプローチプロジェクト	30万円
ネパール	NPO法人「ベルダレルネーヨ(ネパリ・バザーロ)」	カンチャンジャンガ紅茶農園周辺の子どもたちへの高等教育支援	70万円
ミャンマー	公益社団法人「シャンティ国際ボランティア会」	ミャンマー難民キャンプの図書館事業	20万円

*** その他現物寄付**

- ・ はがき514枚を「幼い難民を考える会(CYR)」へ寄付した。

・外国コインを「ユニセフ」に寄付した。

(2) 国内 NPO、NGO の国内の寄付支援及び緊急支援

*7月の熊本豪雨災害被災地へ緊急支援を行った。

総額： 350,065 円(店頭募金を含む)

支援地域	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
東京都及び 関東近辺	認定NPO法人「シェア＝ 国際保健協力市民の会」	在日外国人支援 通訳派遣と電話相談を通じ外国人の医 療アクセス改善プロジェクト	100,000 円
宮城県 気仙沼市	NPO法人「生活支援プロジ ェクトK」	東日本大震災復興支援 気仙沼地域住民の生活支援(被災者交 流事業の継続、母親対象の子育て支援 事業、いのちの大切さを伝える事業)	109,430 円 (店頭募金含む)
福島県 郡山市	甲状腺ガン支援グルー プ・あじさいの会	東日本大震災復興支援 福島県内の小児甲状腺がん患者と家族 及び支援者へのサポート事業	100,000 円
熊本県球磨村	熊本県球磨村義援金	7月豪雨災害緊急支援	40,635 円 (店頭募金含む)

(3) 東日本大震災被災地「気仙沼の産品」取り扱いによる復興支援

年間仕入れ金額： 1,023,860 円

3) 国際理解を深めるための事業

(1) フェアトレードの推進

「もうひとつの海外支援」としてフェアトレード品の仕入れを行い生産者を支援した。

フェアトレード品 年間購入金額 295,466 円

フェアトレード品仕入先団体別購入金額 ()内は取り扱い商品の生産国、主な品

ネパリ・バザーロ (ネパール紅茶、カレー、他)	第三世界ショップ (ブラジルの珈琲、インドネシ アの塩、チョコレート、他)	フレンズ オブ アシ ーラ(パレスチナのオ リーブ石鹸)	横浜・珈琲工場&百屋 (フィリピンの珈琲)
65,466 円	203,102 円	5,690 円	21,208 円

(2) WE 講座の開催

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、人の集まる講座は開

催を中止した。

(3) 「貧困なくそうキャンペーン」の開催

- ・2020年10月～12月 今年度は地球環境問題をテーマに取り上げ、海洋プラスチックごみ問題を調査しパネルを作成し店内に掲示した。
- ・現状がわかるチラシを作成し会員やお客さまに配布。関心を広げるように努めた。

4) 組織運営

(1) 運営委員会の開催

*原則月1回運営委員会を開催したが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業やボランティア対応など、その都度臨時運営委員会で対応を協議決定し関係者へ発信した。

*6月に厚木市指定及び8月に認定NPO法人格が取得できた。

*新型コロナウイルス感染防止協力への各種交付金等を申請し減収対策をとった。

国	経産省	持続化給付金
	中小企業庁	家賃支援給付金
神奈川県	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	(第1弾、第2弾)
	神奈川労働局	緊急雇用安定助成金
厚木市	中小企業応援交付金	(第1弾、第2弾)

(2) 会員

法人会員にはニュースの送付等を通じて情報を開示した。

会員数 期首 84名 期末 78名

(3) ボランティアミーティング及びスタッフミーティング

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、ボランティアの皆さんにはお休みしていただく等変則的な対応をとった。

可能な範囲でボランティアミーティング及びスタッフミーティングを開催して情報を共有。課題の整理、活動への提案につなげた。

スタッフミーティング : 7回開催(6月～12月の毎月)

ボランティアミーティング: 4回開催 (6月 8月 10月 12月)

(4) 地域とのつながり

*「KTC おおぞら高等学院厚木キャンパス」の生徒の受け入れ

毎年行ってきた生徒たちの受け入れは、コロナ禍の実施を心配して担当の先生から時々連絡を受けたが、感染拡大防止のため見合わせた。

- * 「ヒューマンサポートネットワーク厚木(HSN)」への参加
 - ・新型コロナウイルス感染防止対策のため運営会議が延期となり、イベントも中止となった。
 - ・年間を通じてフェアトレード品の共同購入にご協力いただいた。

購入実績 152,351 円

※ご協力いただいた各事業所の皆さま

ケアセンターあさひ	保育園ViVi	おひさまっこ保育園
学童保育なないろのたね	くれよん保育室	デイルームとんとん

(5) WE21 ジャパン・グループとの連携

- *今年度は、Zoomを使ったオンラインでのグループ会議等が開催された。
- *新型コロナウイルス対策をめぐる「緊急メーリングリスト」が開設され、地域代表間での情報共有を図った。
- *2021年3月16日 韓国慶尚南道地域自活センター19団体との日韓カフェ(Zoom)に参加。

※韓国慶尚南道地域自活センター協会とは

国や自治体からの委託を受け、自活・自立を目指して教育や労働の機会を提供する支援を行っている。

※WE21 ジャパンとのかかわり

- ・地域NPOが中心となって交流を開始し、2013年WE21 ジャパンと友好協定を締結。2019年には韓国から協会メンバーが来日し、いずみ、藤沢、保土ヶ谷、相模原の地域と交流が行われた。
- ・2020年のコロナ禍、地域自活センターの人たちが作成した1000枚のマスクの寄附が寄せられ、地域NPOを通じて以下の4団体に寄附された。
 - 日本語教室に通う外国籍児童やその家族を支援する「THE トマトマの会」へ 150枚、「湘南JRC」へ 100枚
 - 横浜中区寿地区の「ことぶき協働スペース」へ 400枚
 - 東京池袋地区路上生活者支援の「NPO 法人TENOHASHI」へ 350枚